

3月から4月は、様々な別れと出会いがあります。

**震災で入学式中止一あれから4年 復興こそ最大の学び 2,652人華やかな門出—
東北学院大学卒業式**

「東北最大の私大、東北学院大（仙台市）の卒業式が3月24日、太白区の市体育館であった。4年前の入学式は東日本大震災の影響で中止。大学生生活の傍ら被災地支援を続けてきた学生たちも多い。大学はさとう宗幸さんからOBが映像ではなむけの言葉を贈るサプライズを用意し「入学式の無かった卒業生」の門出を祝った。

式では6学部、大学院の計2,652人の卒業生を代表して文学部の千葉京子さん（22）＝石巻市＝が「災害の傷跡が残る中で学びの機会を与えられた」と学生生活を振り返った。松本宣郎学長は「学びの蓄積が仙台、東北、日本、世界で働く武器となる」と式辞を述べた。

文学部の佐藤麻奈さん（22）＝東松島市＝は震災直後の混乱で第1志望の国立大を受験できず、東北学院大へと進んだ。

入学後は、捕鯨文化の残る石巻市鮎川地区で被災民俗資料を救う文化レスキューに没頭した。卒論も捕鯨をテーマに選び、被災地の人々の再生に懸ける思いを聞いた。

いまは「4年間のボランティアでいろんな人に会えた。東北学院大に来てよかった」と心から言える。

佐藤さんは「入学式ができなかったのは残念だったけれど、たくさんの人に祝ってもらえてうれしい」と晴れやかな笑顔で巣立って行った。（「河北新報」2015年3月25日付け）

社会人として一步 民間企業入社式 阿部長商店は33人 気仙沼市本吉地方

「新年度がスタートした4月1日、気仙沼・本吉地方の民間企業でも入社式が行われた。真新しいスーツなどに身を包んだ新入社員たちが、会社再建や古里の復興に貢献したいとの思いや希望を胸に、社会人としての一步を踏み出した。

このうち、気仙沼市や大船渡市などに13事業所を持つ阿部長商店グループは、南三陸ホテル観洋で入社式を行い、33人の新入社員が誓いを新たにした。

式辞で阿部泰浩社長は「震災後、従業員のパワーが会社を支えてきた。みなさんも先輩に負けないアイデアと実行力で、思う存分活躍してほしい」とエールを送った。

新入社員を代表し、サンマリン気仙沼ホテル観洋の都澤和弘さん（22）＝福島県いわき市出身＝が「三陸の魅力为全国の皆さんに届けるため、一日も早く一人前の社員として責任ある仕事ができるよう努力します」と誓いの言葉を述べた。

本年度の同グループの新入社員は、地元のほか、震災後、南三陸町でボランティア活動をしたことが縁で入社を決めた埼玉県出身者など、遠方出身の社員も多いという。（「三陸新報」2015年4月2日付け）